

関工同窓会報



就任挨拶

同窓会長 千葉裕

同窓生の皆さまにおかれましては各地において、お元気で御活躍のことと拝察いたします。日頃より同窓会の活動に對しては、特段のご支援を頂いていることに對して厚くお礼を申し上げます。

私は平成二十七年年度の定期総会（七月四日）の役員改選時に於いて、はからずも新会長に推挙されました。電気科六回生（昭和四十一年卒）の千葉裕と申します。もとより浅学非才であります。引き受けた以上は、誠心誠意で事に当たりたい。なかなか追いつかないかも知れませんが、一杯の努力をさせて頂きたいと考えています。どうかよろしくお願ひ致します。

さて、母校の卒業生も、平成二十六年年度で八、八〇〇名を数えると思われました。各地区、各支部に於いては、若い同窓生からベテランまで楽しく集まり易い会にと、ご苦労をされながら工夫と努力を重ねて毎年の開催をされていることに對しまして感謝を申し上げます。

ここで、平成二十七年年度の同窓会の事業の一部を紹介させていただきます。一つは被災地の高校への支援（今年度は卓球部）を継続して行いました。もう一つは、母校への支援事業について紹介いたします。母校への支援事業の一つに、部活動等で（高総体・県民・新人戦）で優秀な成績を取った団体・個人に對し、奨励金の贈呈等を行っていますが、平成二十七年年度の現在までの状況をお知らせいたします。弓道部の県大会優勝、卓球部は準優勝、ラグビー部（男子）は優勝、バスケットボール部はベスト8（数人が県選抜で国体へ）、土木科では測量技能で生徒数名が東北大会へ参加、と云うような状況でした。申すまでもなく活躍した生徒たちを對し、奨励金を渡すために何度か母校に足を運んだのは云うまでもありません。このように、生徒たちは持っている力を発揮するために、一生懸命に努力している様子が伝わってきました。生徒たちにとって、これらの経験が社会に出た時に、生きる自信となればと、願わずにはいられません。同窓会は勿論ですが、



関工プライド&コンフィデンス

校長 阿部 徹

本校同窓会の皆様方には、日頃より本校へのご支援・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。また、同窓会の皆様方はじめ、各方面の方々から沢山の支援と励ましを頂き、お陰様で生徒達は勉学や部活、資格取得や各種コンテスト等に存分に励むことができております。

さて、今関工は、これまでの諸先輩方が残された文武両面での輝かしい活躍や実績に少しも近づこう、追いつこうと生徒・教職員が一丸となつて取り組んでいるところであります。

今年度の取組として、「全てに本気で取り組む関工生」をスローガンに掲げ、サブテーマに「関工プライド&関工コンフィデンス」と銘打って、本校生徒をはじめ、来校される企業の方々の目に付く場所（廊下や職員室の壁）に掲げておられます。

昨年度以上に様々な分野において活躍しております。まずは、難関国家資格の測量士に三年ぶりに合格者を出すことができました。また、進路に於いては、就職一次応募内定が九〇%（昨年度八七%）という過去最高の率でありましたし、公務員（国家・県・市）には六名が内定しております。お陰様で順調に決まってきたところであります。

県高総体では、ご存知の通り弓道部の団体優勝（九年ぶり）とラグビー（七人制）の準優勝をはじめ、全ての運動部が県大会に出場し活躍しております。どの部の選手も関工の代表としての自信とプライドもち、各部の代表として選ばれた者の責任をしっかりと果たし最後まで諦めずに精一杯戦っております。

関工生が、これまで以上に誇り（PRIDE）と自信（CONFIDENCE）をもって行動し、卒業してからも母校に誇りをもてるような、さらには同窓生の方々や地域の方々からも心から喜んで応援して頂ける、そのような学校（生徒）でありたいと強く願っております。

このような取り組みの中、生徒達は今年度も

高総体以外でも、弓道部の県新人大会優勝（十二年ぶり）、東北選抜大会準優勝、卓球部の県新人大会準優勝、東北選抜大会出場をはじめ、野球部の夏の大会（二年連続ベスト8）やバスケットボール部のウィンターカップ準優勝（二十年ぶり）等、県大会・東北大会等で大いに活躍しております。さらに、今年開催された一わか

母校の諸先生方の力を借りながら今後もこのような支援を続けられるよう思いを致している所です。

話は変わりますが、岩手県内の県立高校再編成計画が十二月に県教育委員会から発表されました。我が母校にも影響を及ぼす予定です。前会長のアイデアで、関工祭のバザー招待券を各中学校へ配布し、関工へのイメージアップ作戦で入学希望者を一人でも増やそうとの試み程度では取まらないうえ、少子化と云われる現象が現実味を帯びてきています。ちなみに県教委の試算では両替プロック（一関市・平泉町）といわれる範囲では平成二十七年三月・平泉町と二十二年三月までの間に一六二八人減少することが見込まれることから学級数の調整が必要と、と云っております。

この数字は一クラスを二十八人とした場合に五クラス分に相当する数字です。当然ながら両替プロック内の高校に適用される可能性が大であると思わざるをえません。しかしながら、一関工業高校の素晴らしきやその優秀性を同窓生各人が地域に伝え広めていくならば、いくばくかでもその影響が少なくなることを念じていたのです。

これらの課題にたいしては、同窓会員の皆さまの知恵を借りながら現実を直視し真摯に對峙していきたいと考えています。

これからも同窓会員の士をより一層大切にし、同窓会の発展と飛躍のために同窓会員皆様方の一層のご支援とご協力をお願い致します。

やま団体にはバスケットボール少年の部に、本校から三年生二人が選抜されチームの中心選手として活躍しています。

また、文化部も熱心に活動しており、生活文化同好会は一関市の夏祭りに七夕を製作して参加し盛り上げ、秋の県高総文祭（写真部門）では写真部が二年連続で入選、美術同好会は「来年度用国土緑化運動等のポスター」がコンクールで優秀賞に選ばれました。さらに、放送部は高校生交通安全テレビCMコンテストで優秀賞を受賞いたしました。昨年高校生ものづくりコンテスト（測量部門）岩手県大会で優勝した土木科三年生チームは今年の東北大会出場し見事優勝しています。

そして、同窓会の全面的なご支援により実施できました復興ボランティア活動（今年度は卓球部が高田高校と交流させて頂きました）は、本当に貴重な経験になりました。参加した生徒共々に感謝しております。

このように、関工生が様々な場面で力を発揮し活躍ができております。全て同窓生の皆様方の温かいご理解と沢山の支援・ご協力のおかげであり、生徒達もそのことを覚え心から感謝し、それに何と応えたいと思っております。皆さまの御支援は、このように着実に成長しております。「十八歳の自立」をしっかりと実現しようとしております。

どうか同窓生の皆様方におかれましては、今後とも後輩の生徒達を温かく見守り、引き続き特段のご高配・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度 定期総会

今年度の定期総会は7月4日(土)にサンルートホテル一関で開催されました。

議事では、26年度の決算・27年度事業計画及び予算、役員改正などが原案の通り承認されました。特に役員改正においては、惜しまれる声もありましたが伊藤勝義さんが会長職を退任されます。今後は千葉裕新会長を中心に新体制で活動してまいりますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。

総会後の懇親会も参加された皆さんは大いに盛り上がりました。来年度も同級生や職場の同窓生に声を掛けて頂き、多くの方の出席お待ちしております。

平成26年度一般会計決算

1. 収入の部

項目	予算額	決算額
1.会費	1,650,600	1,650,600
2.入会金	131,000	131,000
3.繰越金	1,941,227	1,941,227
4.雑収入	223	10,383
合計	3,723,050	3,733,210

2. 支出の部

項目	予算額	決算額
1.事務費	8,000	1,368
2.通信費	560,000	528,897
3.会議費	100,000	90,000
4.旅費	156,000	74,480
5.人件費	0	0
6.事業費	1,080,000	950,960
7.積立金	0	0
8.予備費	1,819,050	0
合計	3,723,050	1,585,705

次年度への繰り越し

(収入合計) - (支出合計) = (差引既高)
3,733,210円 - 1,585,705円 = 2,147,505円

平成26年度特別会計決算

1. 収入の部

項目	予算額	決算額
1.積立金	0	0
2.繰越金	4,720,794	4,720,794
3.雑収入	1,006	307
合計	4,721,800	4,721,101

2. 支出の部

項目	予算額	決算額
1.50周年記念事業	4,000,000	3,538,999
2.予備費	721,800	0
合計	4,721,800	2,538,999

次年度への繰り越し

(収入合計) - (支出合計) = (差引既高)
4,721,101円 - 2,538,999円 = 2,182,102円

平成27年度一般会計予算

1. 収入の部

項目	予算額	前年度予算額
1.会費	1,738,800	1,650,600
2.入会金	138,000	131,000
3.繰越金	2,147,503	1,941,227
4.雑収入	295	223
合計	4,024,600	3,723,050

2. 支出の部

項目	予算額	前年度予算額
1.事務費	8,000	8,000
2.通信費	540,000	560,000
3.会議費	100,000	100,000
4.旅費	156,000	156,000
5.事業費	1,213,000	1,080,000
6.積立金	100,000	0
7.予備費	1,907,600	1,819,050
合計	4,024,600	3,723,050

※会費と入会金の入金は卒業確定後となる為、年度末(2月末)になる。
予備費額が多額になっているのはその為である。

平成27年度特別会計予算

1. 収入の部

項目	予算額	前年度予算額
1.積立金	100,000	0
2.繰越金	2,182,102	4,720,794
3.雑収入	498	1,006
合計	2,282,600	4,721,800

2. 支出の部

事業計画なし

平成27年度事業計画

1. 同窓会報の発行(第37号 7,000部)
2. 支部活動の援助
3. 支部結成の支援
4. 母校の支援
5. 復興支援(高田高校)
6. 慶弔時の電子郵便の発送
7. その他



連絡員 事務局長 監事 理事 副会長
顧問 会長 顧問

齋阿佐千佐櫻阿佐竹安餘菅高阿千佐槻菅山小佐藤浅佐岩須伊石阿熊山高阿中千山高菅菅佐菅菅齋五千小
藤部木葉藤田部藤田部目原橋部葉藤木原本寺藤代野藤淵藤津部谷本橋部村葉平橋原野藤原原藤山
直健祐幸一雅圭 拓拓 将健幸 駿康正克 伸樹克利靖 幸雅良正一 涼寛功周精健時弘高文正 峯
巧輝太一祐輝哉太鈴貞也諒斗太輝蓮哉平弘彦涉幸哉夫文浩博輝弘二弘輝弘一長二一紀二雄樹明朗一裕雄
27 27 27 26 26 26 26 25 25 25 25 24 24 24 24 23 23 23 23 14 5 3 53 62 2 4 62 53 39 23 23 16 3 元 62 57 55 52 41 2 53 46 44 42 40
士 機子 電土 機子 電土 機子 電土 機子 電土 機子 電土 機子 電土 土子 土子 土子 土子 機機 土子 電子 子子 子子 土土 土子 電子 電子 機子 電土 電電

平成27・28年度役員

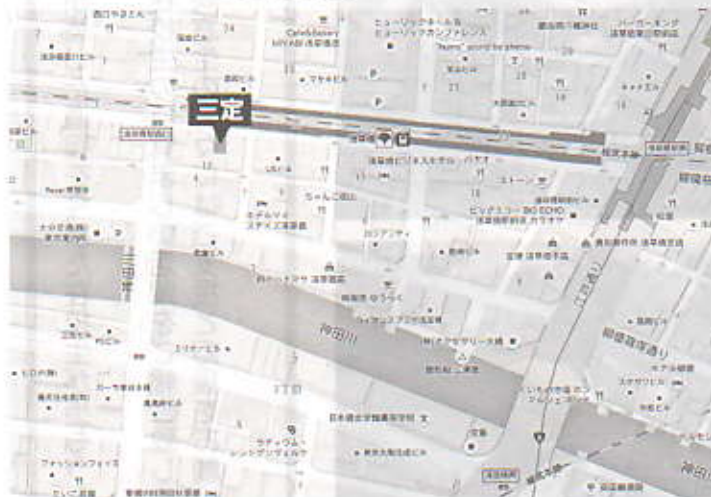
平成28年 関工同窓会関東支部懇親会開催のご案内

下記により支部懇親会を開催致しますので、多忙な時期とは存じますが、同窓生お誘い合せのうえ、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

◎日時 平成28年2月13日(土) 13:00~
◎場所 浅草橋 三定 2階 (菅原さんの会社の近く)
東京都台東区浅草橋1丁目13-6
JR総武線 浅草橋 西口から0分
電話 03-3851-4491

※注意 くれぐれも浅草橋の三定です。浅草にもありますので注意。



◎会費 6,000円 (当日申し受けします)
※申込切 2月3日 (事務局まで)

※出席希望の方は、同封のハガキに氏名・住所・科名・卒業年等を記入の上、「関東支部懇親会出席」と記入し2月3日迄に事務局へ届くようにお送り下さい。



▲関東支部懇親会
平成27年2月14日(土) 於 カラオケ バセラ

《関東支部》

2月14日(土)に、26年度の関東支部懇親会が開催され親睦を深めました。

平成28年度 仙台支部懇親会(兼支部総会)開催のご案内

下記により支部懇親会を開催致しますので、多忙な時期とは存じますが、お誘い合せのうえ、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

◎日時 平成28年4月22日(金)
18:00~20:00頃
◎場所 寿司勝 2F
仙台市青葉区中央四丁目2-30
電話 022-222-7225 (代)
※会場案内図(右図)をご参照下さい。

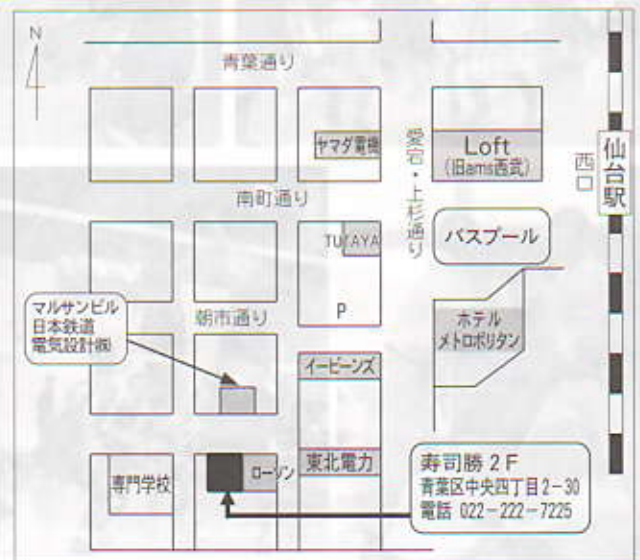
◎会費 5,000円 (当日申し受けします。)
◎申込・問合せ 同窓会事務局又は支部長
【申込は4月15日(金)まで】
支部長 阿部利正 (090-3363-1175)
電気通信科1回生(S37年卒)



▲仙台支部懇親会 平成27年4月22日(水) 於 寿司勝 2F

《仙台支部》

今年度の懇親会が4月22日(水)に開催され、和やかな時間を過ごしました。



明日を目指してファイト!!



諸先輩方が築いた道程を今また在校生が歩もうとして
 おります。
 ここに、在校生の目覚ましい活躍をご報告致します。
 今後とも同窓生の方々にはご支援と応援をお願い致し
 ます。



在校生活躍の記録

主な活動成績

◎平成27年度若手県高等学校
総合体育大会

〈サッカー部〉

- 1回戦 関工 4-0 軽米
 - 2回戦 関工 5-0 千歳
 - 3回戦 関工 0-6 盛岡中央
- ※ベスト16



〈ハンドボール部〉

- 1関工 28-32 紫波総合
- ※ベスト16

〈ソフトテニス〉

個人戦

- 3 D 佐藤・2 M 小野
- 3 C 小野寺・3 A 小野寺

2回戦敗退

団体戦

- 2回戦 1関工 2-1 金ヶ崎
- 3回戦 1関工 1-2 不來方

※ベスト16

〈弓道部〉

団体予選 通過 40射20中

※4校+3校の競射

(1回目5射2中/2回目5射5中)

準々決勝 通過 (60射34中)

準決勝 通過 (80射49中※3校)

1校の競射 5射4中)

決勝 1関工 12-9 黒工

1関工 16-8 福工

1関工 11-15 不來方

※2勝1敗 優勝

インターハイ出場

〈柔道部〉

団体戦予選

- 1関工 1-4 盛岡市立
- 1関工 3-2 久慈工

予選敗退

個人戦

- 60kg級 2 C 小野 2回戦敗退
 - 3 M 中川 3回戦敗退
 - 66kg級 2 D 小岩 2回戦敗退
 - 81kg級 1 C 千田 1回戦敗退
- ※ベスト16

〈卓球部〉

団体戦

- 2回戦 1関工 3-1 花巻東
- 3回戦 1関工 3-0 一関高専



準々決勝 1関工 3-0 花北青雲

準決勝 1関工 3-2 高田

決勝 1関工 0-3 専大北上

※準優勝

ダブルス

2 C 获荘・2 A 西館

3 C 佐々木・3 C 沼倉

※ベスト16

シングルス

2 C 获荘 (5位)

2 A 西館 (11位)

3 C 佐々木 (13位)

3 C 沼倉 (14位)

※東北大会出場

〈ラケット部〉

7人制

- 1関合同 46-7 久慈工
- 1関合同 38-0 花巻東

※優勝

〈バレーボール部〉

- 1回戦 1関工 2-0 紫波総合
- 2回戦 1関工 0-2 花巻東

〈陸上競技部〉

- 100m 3 C 星 準決勝敗退
- 800m 2 C 菅原 準決勝敗退

〈バスケットボール部〉

- 3回戦 1関工 90-38 盛岡中央

全国・東北大会激励金贈呈

弓道部・卓球部・7人制ラケット部・バスケットボール部(選抜)ものづくり測量部門に同窓会より激励金が贈呈されます。



4回戦 1関工 89-43 福岡

準々決勝 1関工 91-93 盛岡市立

※ベスト8

第62回春季東北地区高等学校野球若手大会

1関地区予選 (5/25)

2回戦 1関工 22-0 花泉

準決勝 1関工 10-6 大東

決勝 1関工 1-6 一関学院

第62回春季東北地区高等学校野球若手大会

1関地区予選 (5/15)

1回戦 1関工 7-0 遠野

2回戦 1関工 1-4 久慈

※ベスト16

〈囲碁将棋部〉

第37回若手県高等学校将棋大会 (C級)

2 A 菅原 (54位)

2 D 高橋 (89位)

2 A 高橋 (102位)

平成二十七年度 復興支援事業

平成二十七年十一月二十一日(土)、高田復興支援事業として卓球部が高田に行き合同練習を行いました。



練習試合と被災地見学を終えて

荻 莊 新

今回は練習試合だけでなく、被災地見学までさせていただきありがとうございます。

練習試合ではきれいな体育館と台を使用させていただき、早く試合させていただき、早く一関工業も新チームになりこれからはもっとレベルアップしていかなければいけないので素晴らしい機会でした。これからも高田高校と共にレベルアップできるようにがんばりたいと思います。

被災地見学では、すごい高さまで津波がきたのだと分かるように、目印がされており、あまりの高さに驚きました。高田高校のすぐ隣に仮設住宅があり、まだまだ復興が進んでないのだと思いました。土木科生徒として、早く仕事につき、被災地の復興に役立てるようになりたいと思いました。

このたびはこのような機会をもうけていただき誠にありがとうございました。

石川 大海

高田高校との練習試合及び講話を終えて、今回の震災による被害の甚大さを理解しました。私達は内陸で生活しているため、震災から四年が経過した今は、全てと言って良いほど震災によ

る被害の痕は無くなり、何不自
由無く生活できています。その
せいか、私達の中での震災の記
憶は風化しつつあり、無かった
ことのようになろうとしていま
した。

そんな私達には、今回の講話
はとても意義のあるもので、忘
れられない、忘れてはならない
時間でした。非常に多くの人や
物を失って、四年経った今でも
不自由な生活を強いられている

陸前高田を含む沿岸の地域に住
む人々のことを忘れず、この甚
大な被害の記憶を風化させない
ためにも、私達は、命を絶たれ
た人々の分まで生きる義務があ
ることを胸に刻み、生活してい
きたいと思えます。貴重な時間
をありがとうございました。

及川 凌生

今回の練習試合では、テスト
明けという事で、コンディショ
ンとしては、あまり良くなかつ
たのですが、練習通りに、一球
一球集中してプレーできたので
よかったです。また、被災地見
学では、実際に、被災にあった
高田高等学校に行き、スライド
ショーを通してさまざまな事
学びました。高田高校は、東日
本大震災の影響で大きな被害に
あい、旧校舎は、津波によって
使える状況ではなかったそうで
す。また、校舎だけではなく、
生徒や先生方も被災にあい今も
まだ行方不明の人がいるという

話を聞きました。あれから四年
がたった今、高田高校は、新校
舎が建てられ沢山の生徒が多く
の賞を取ったり、色々な事に挑
戦したりなど、とても、活気に
あふれているという事が印象に
残りました。これからは、復興
に向けて、自分自身でできること
を積極的にやっていきたいと思
いました。

榎原 重人

私は十一月二十一日に高田高
校へ練習試合へ行ってきました。
被災地へ行くのは、何回かあつ
たのであまり新鮮味はありません
でしたが、その高田高校が
どのようにして今部活や勉強を
しているか、それを多く知るこ
とができました。

試合の方は一敗という残念な
結果でしたが内容の方はそれな
りに良かったので、これからの
練習に生かしていきたいです。



今回の練習試合では卓球以外
にも多くの事が学べた試合だっ
たと思います。パソコン室で高
田の先生達が話してくれた内容
はわかりやすく当時の状況を理
解できたり、高田の歴史をより
多く知ることができ試合の反省
点のほかにいち早く高田が復興
してくれれる事を願いました。

千葉 慎一郎

今回、私達卓球部は四年前の
東日本大震災で校舎が全壊する
などの甚大な被害に見舞われた、
高田高校との交流試合及び、被
災地の見学を行いました。
高田高校までのバスの移動中
に、まだ海も見えないなか、す
でに津波が到達した地点を走っ
ていると聞かされ被害の規模の
大きさにまず驚きました。

その後、新設された高田高校
の体育館で交流試合を行いました。
体育館は二階建てになって
いて卓球をするにも十分なスペー
スがあり、とても良い環境で試
合をすることが出来ました。

交流試合を終えて新校舎を見
学した後、職員の方に、震災当
時の状況と、高校再開までのお
話を伺いました。高田高校は校
舎が全壊し、多くの命が失われ
たということで、再開までの道
のりは困難なものだったと思
います。

今回の交流を通して自分達の
生活出来ている環境はかけがえ
のないものだと思います。

転出入職員

転出された職員の方々をご紹
介致します。

また、退職された職員の方々
は校長先生を始め四名でした。

一関工業高等学校在職中は
多方面においていろいろとご尽
力下さいました。改めて感謝申
し上げます。

◎退職

- 佐々木 清人先生(校長)
- 三浦 俊哉先生(電気)
- 吉家 泰先生(電子)
- 小岩 優太さん
(ポイラー技士兼用務員)

◎転出

- 藤原 修先生(副校長)
- 宮本 次郎先生(数学)
- 及川 秀明先生(電子機械)
- 佐々木 健一先生(電子)
- 中野 文照先生(土木)
- 山田 甲二先生(電気)
- 中家 義章先生(土木)
- 佐藤 由美子主査 宮古北

今年度、一関工業高等学校へ
転入された職員の方々をご紹介
致します。

先生方の中には、一関工業高
等学校へは二度目の勤務となる
副校長の他、本校卒業生の方な
どが転入され、大変心強く感じ
ております。

同窓生の皆様には初めての方
もいらっしゃるかと思いますが、
末永いおつきあいをよろしくお
願いします。

◎転入

- 阿部 徹校長 釜石商工
- 佐々木 直美 副校長 久慈工
- 後藤 嘉平先生(電気) 宮古工
- 古館 武先生(電気) 千 厩
- 久保田 厚先生(数学) 大船渡
- 竹内 耕平先生(電子機械) 男鹿工
- 佐藤 洋之先生(電子機械)
- 柏原 勝太先生(電子) 黒沢尻工
- 和田 憲先生(体育) 高田東中
- 岩 潤利文先生(土木) 黒沢尻工
- 吉田 雅(和主査) 宮古商
- 阿部 久治さん(校務補助員)

伊藤前会長お疲れさまでした。



同窓会の歴史を紐解いていきますと、平成三年より燦然と輝く伊藤勝義氏の名前が出てまいります。同窓会長として「同窓会結成三十周年記念式典」を始め、「四十周年」・「五十周年」と二十数年の長きにわたり同窓会活動を通して私達を導いて頂いていております。

平成二十七年七月の同窓会総会をもって会長職を退かれ後進に同窓会の活動と活躍を委ねられました。今後は同窓会を後方から暖かい目で見守り頂きますが、御指導ご鞭撻の程お願い致します。永い間ご苦勞でした。

定期総会のご案内

平成二十八年度

一関工業高校同窓会総会・懇親会

◎と き 平成二十八年七月二日(土)
十七時三十分～

◎と ころ ホテルサンルート一関

一関市上大槻街二一三七
電話〇一九一―二六―四三二一

◎会 費 二千円(懇親会)

総会に引き続き、懇親会を行います。多くの方の参加をお待ちしております。同封のハガキで六月十九日迄お申し込み下さい。平成二十七年年度卒の新会員の方は無料となります。



ホームページがリニューアルになりました。

アドレス URL <http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/index.html>
E-mail kanko-mail_ict-h@iwate-ed.jp

事務局からのお願い

同封の住所用葉書は転居の時又は、配達先と現住所が異なっている時にご利用下さい。
住所に変更がない場合には投函は不要です。

◎会報の発送

会報は年一回全員に郵送しておりますが経費節約のため、支部・会社単位にまとめて代表者の方に送りますので同窓生に配付をお願いいたします。また、一族には一通のみの発送といたしますのでご理解をお願いいたします。

知人・友人の方で会報が届いていない方がありましたら同封の住所用ハガキを利用して事務局までお知らせ下さい。

尚、住所には寮名・アパート棟番号・部屋番号等が記入されませんと郵便物が配達されませんので正確に記入して下さい。

◎同級会の幹事さんへ

会員名簿を整理しておりますが不明の方も多数あります。又、年一回発行の会報も届いていない現状です。そこで、同級会を計画している幹事さんにお願ひします。同級会のため調査した住所録を事務局まで一部郵送をお願いいたします。

又、同級会への出欠確認のハガキには同窓会専用のものをご利用下さい。請求は同窓会事務局まで。